

エコアクション21

環境経営レポート



株式会社 橘一吉工務店

目 次

1. 組織の概要

2. 認証・登録の対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

3. 環境経営方針

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7. 環境経営目標の達成状況

8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

9. 次年度環境経営目標

10. 次年度環境経営計画

11. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

事業所概要			
事業所名	株式会社 橘一吉工務店		
代表者名	代表取締役 橘 伸太郎		
所在地	本社	香川県高松市花園町2丁目2番5号	
	資材倉庫	香川県高松市川島東町482	
環境管理責任者氏名 及び連絡先	氏名	久保一樹	
	連絡先	TEL	087-861-5470
		FAX	087-861-7987
		MAIL	tatibana@beach.ocn.ne.jp
		HP	http://www.tachibanakk.jp
事業内容	建築工事業 土木工事業 不動産業		
事業の規模	創業	1946年2月1日	
	資本金	2000万円	
	売上高	334百万円(2018年度)	
	工事等の件数	325件(2018年度)	
		本社	資材倉庫
	従業員	12名	無人
	延べ床面積	256. 14㎡	597. 55㎡
事業年度	7月～6月		

2. 認証・登録の対象範囲及びレポートの対象期間及び発行日

認証・登録	
認証・登録番号	0009738
認証・登録事業者	株式会社 橘一吉工務店 香川県高松市花園町2丁目2番5号
認証・登録日	2013年11月18日
更新・登録日	2017年11月18日

認証・登録の対象範囲	
登録事業所	本社 資材倉庫
事業活動	建築工事業 土木工事業 不動産業

レポートの対象期間及び発行日	
対象期間	2018年7月～2019年6月
発行日	2019年8月
次回レポート発行日	2020年8月 予定

3. 環境経営方針

株式会社 橘一吉工務店 環境経営方針

基本理念

株式会社橘一吉工務店は、皆様の良きパートナーとして、思いやりの心と技術を通じて、地域社会に貢献することを目指します。

行動指針

1. 電力・燃料に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境に配慮した工事の推進
5. 地域での環境活動の実施
6. 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。
7. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は、全ての従業員及び下請の協力会社様に周知し、環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日：2013年6月13日

改定日：2018年7月1日

株式会社 橘一吉工務店

代表取締役社長 橘伸太郎

4. 環境経営目標

中期目標

目 的		単 位	基準値	2018年度 目標(－1%)	2019年度 目標(－2%)	2020年度 目標(－3%)
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg－CO ₂	38,217	37,834	37,452	37,070
	1－1 電力使用量の削減	kWh	30,734	30,427	30,119	29,812
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	7,460	7,385	7,310	7,236
2	産業廃棄物の削減	kg	31,705	31,387	31,070	30,753
3	一般廃棄物量の削減	kg	547	541	536	530
4	水使用量の削減	m ³	242	239	237	234
5	環境負荷の少ない環境配慮 工法の提案をする	件	2	2	3	4
6	作業所において、騒音・振動を 低減させる	実施率 100%	100%	100%	100%	100%
7	会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	回	12	12	12	12
8	清掃ボランティアへの参加(年1 回)	回	1	1	1	1

* 基準値は、2015年度～2017年度の3年間平均とした。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO₂発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO₂(2017年度)とした。

* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

4. 環境経営目標

単年度目標

目 的		単位	基準値	2018年度 目標(－1%)
二酸化炭素総排出量の削減		kg－CO2	38,217	37,834
1	1－1 電力使用量の削減	kWh	30,734	30,427
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	7,460	7,385
2	産業廃棄物の削減	kg	31,705	31,387
3	一般廃棄物量の削減	kg	547	541
4	水使用量の削減	m3	242	239
5	環境負荷の少ない環境配慮 工法の提案をする	件	2	2
6	作業所において、騒音・振動を 低減させる	実施率 100%	100%	100%
7	会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	回	12	12
8	清掃ボランティアへの参加(年1 回)	回	1	1

* 基準値は、2015年度～2017年度の3年間平均とした。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO2(2017年度)とした。

* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

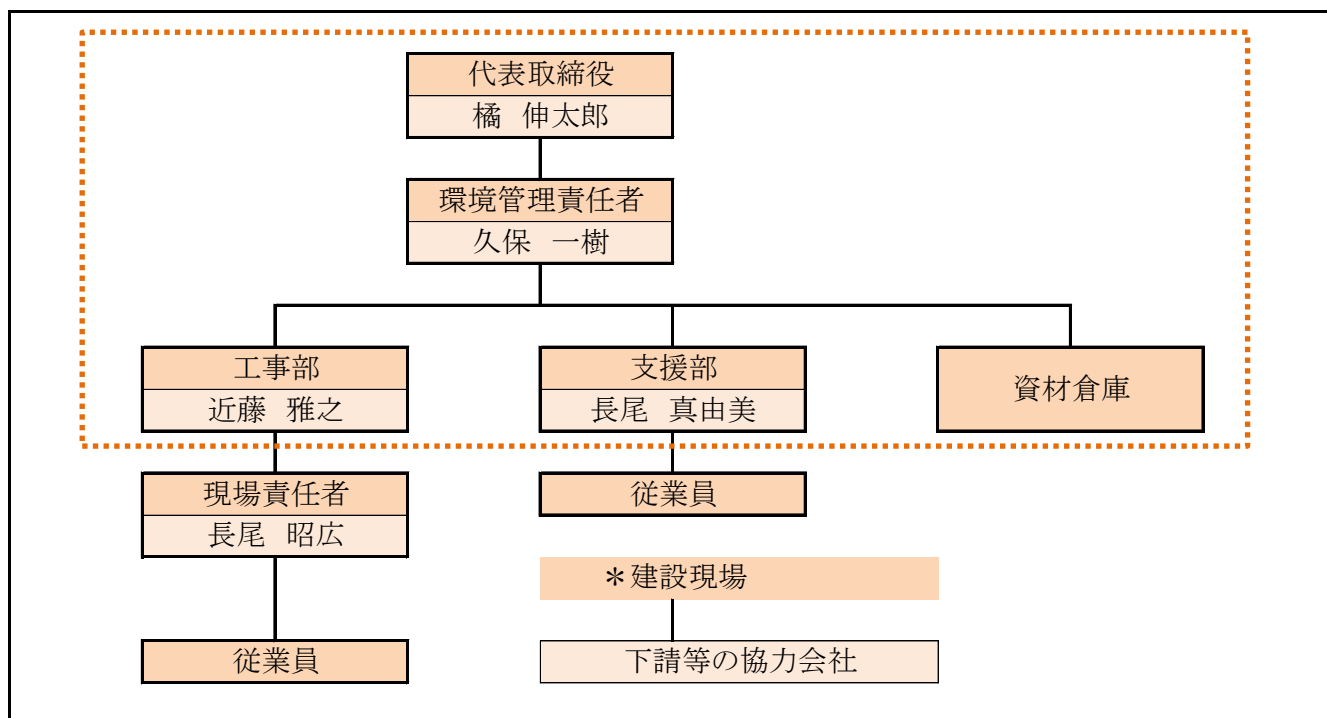
5. 環境経営計画

取組期間:2018年7月1日～2019年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比 1%削減	①不要な照明の消灯 ②エアコンの使用期限を設定 (冷房:6～9月・暖房:12月～2月) ③ノー残業デーの推進	長尾真由美
	ガソリン使用量の削減	基準値比 1%削減	①運転経路の確認・検討を行う ②エコ運転の実施 ③車両の燃費確認	久保一樹
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比 1%削減	①建設資材発注時に使用数量を再チェックし、 残余資材の廃棄を抑制 ②ゴミの分別の徹底 ③段ボールは古紙回収業者へ	久保一樹
	一般廃棄物の削減	基準値比 1%削減	①裏紙使用の推進 ②ゴミの分別の徹底 ③プリント時の印刷設定の確認	長尾真由美
水使用量	節水	基準値比 1%削減	①日常的な節水の励行 ②節水ポスターの掲示と呼び掛け ③蛇口をこまめに閉める	長尾真由美
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	2件	①環境負荷の少ない環境配慮工法の提案をする	近藤雅之
		実施率100%	②作業所において、騒音・振動を低減させる	
地域貢献活動	地域での環境活動	実施率100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	長尾真由美

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

株式会社 橘一吉工務店 実施体制図



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境経営活動の取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	支援部	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	工事部	・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

〔一般廃棄物の削減〕

①裏紙使用の推進



〔一般廃棄物の削減〕

②ゴミの分別の徹底



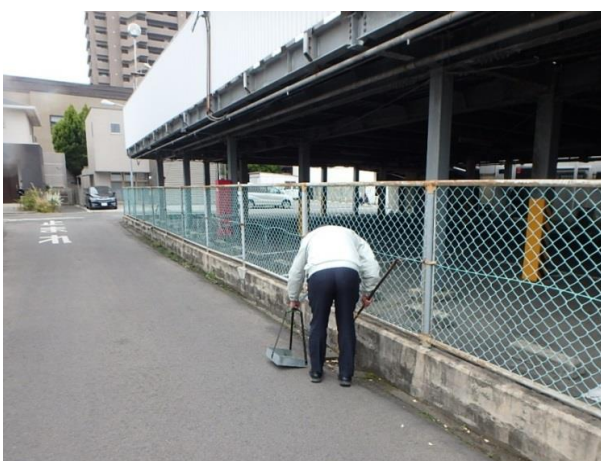
〔水使用量の削減〕

②節水ポスターの掲示と呼び掛け



〔事業活動における環境配慮〕

①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)

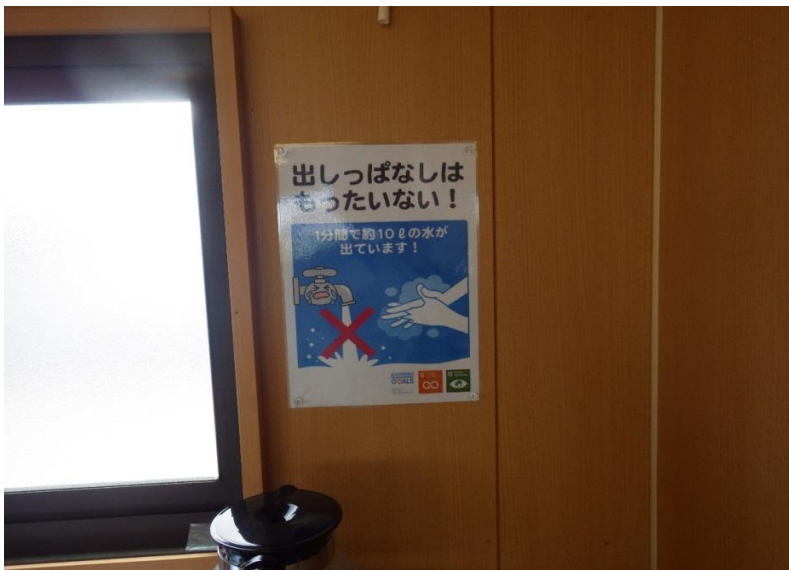


〔使用量結果周知〕

・電気・ガソリン・水・産廃・コピー用紙使用量を前年と比較



作業所での活動



7. 環境経営目標の達成状況

取組期間:2018年7月～2019年6月

単年度目標

○:目標達成 ×:目標未達

環境経営目標	単位	基準値	2018年度 目標(－1%)	実績	削減率／ 達成率	評価
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	38,217	37,834	22,043	42%減	○
1 1-1 電力使用量の削減	kWh	30,734	30,427	10,525	40%減	○
1-2 ガソリン使用量の削減	L	7,460	7,385	6,972	6%減	○
2 産業廃棄物の削減	kg	31,705	31,387	30,800	2%減	○
3 一般廃棄物量の削減	kg	547	541	544	1%増	×
4 水使用量の削減	m ³	242	239	294	23%増	×
5 環境負荷の少ない環境配慮 工法の提案をする	件	2	2	2	達成率 100%	○
6 作業所において、騒音・振動を 低減させる	実施率 100%	100%	100%	100%	達成率 100%	○
7 会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	回	12	12	12	達成率 100%	○
8 清掃ボランティアへの参加(年1 回)	回	1	1	1	達成率 100%	○

* 基準値は、2015年度～2017年度の3年間平均とした。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO₂発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO₂(2017年度)とした。

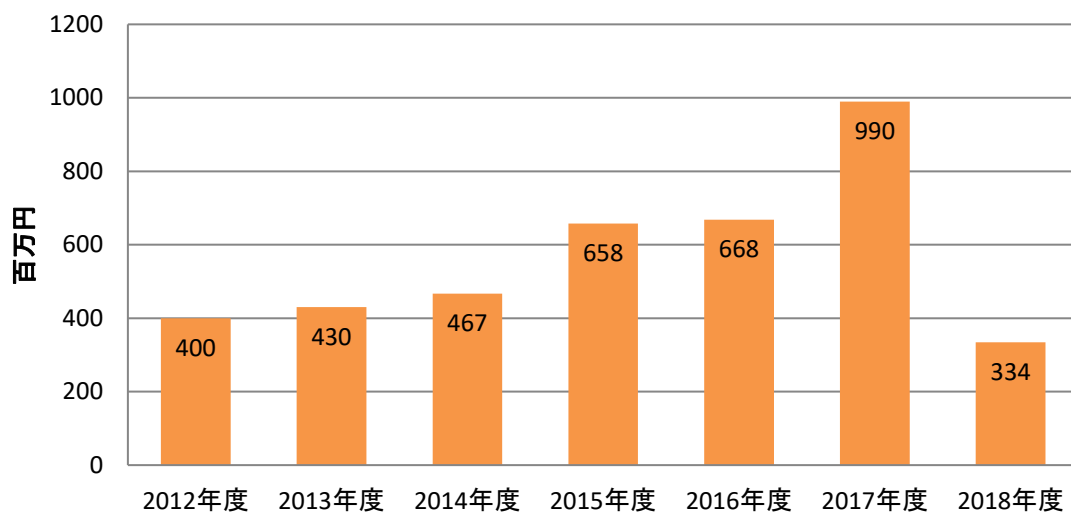
* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

7. 環境経営目標の達成状況

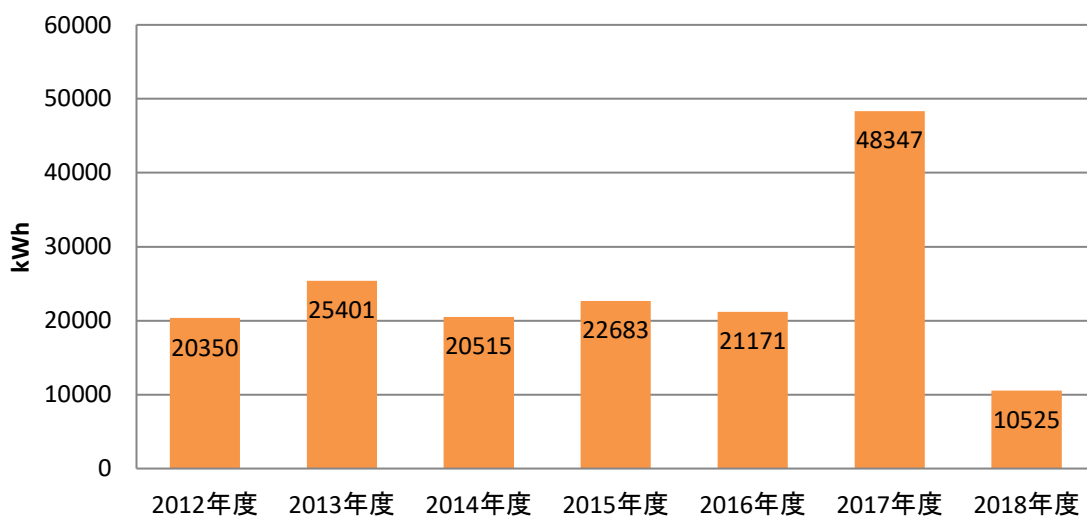
取組期間:2018年7月～2019年6月

環境経営目標		削減率／ 達成率	コメント
1	二酸化炭素総排出量の削減	42%減で 目標達成	・社屋建設に、省エネエアコン、LED照明、二重サッシ、屋根の断熱材使用を使用したため、電力使用量が大幅に削減され、目標達成となった。
	1-1 電力使用量の削減	40%減で 目標達成	・社屋建設に、省エネエアコン、LED照明、二重サッシ、屋根の断熱材使用を使用したため、電力使用量が大幅に削減され、目標達成となった。
	1-2 ガソリン使用量の削減	6%減で 目標達成	・近隣の現場が多く、近いときは自転車で行くこともあり、ガソリン使用量が削減され、目標達成となった。
2	産業廃棄物の削減	2%減で 目標達成	・産業廃棄物が出る現場が少なかったのと、分別の徹底により、目標達成となった。
3	一般廃棄物量の削減	1%増で 目標未達	・コピー用紙の使用量が大幅に増加したため、目標未達となった。次期は、削減に努め、目標を達成したい。
4	水使用量の削減	23%増で 目標未達	・遠方の現場が少なく、従業員が事務所にいることが多くなり、水使用量の増加につながったと推測される。次期は、削減努力する。
5	環境負荷の少ない環境配慮工法の提案をする	達成率 100%で 目標達成	・新築住宅設計の際、太陽光発電システムの提案を1件行った。 ・住宅改修の際、エコキュートシステムの提案を1件行った。
6	作業所において、騒音・振動を低減させる	達成率 100%で 目標達成	・全作業所において、騒音・振動の低減に努めた。
7	会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	達成率 100%で 目標達成	・毎月朝礼後に、会社周辺道路等の清掃活動を行った。近隣の方々と挨拶を交わし、気持ちよく実施できた。
8	清掃ボランティアへの参加(年1回)	達成率 100%で 目標達成	・毎年参加している建築団体の清掃ボランティアに参加した。

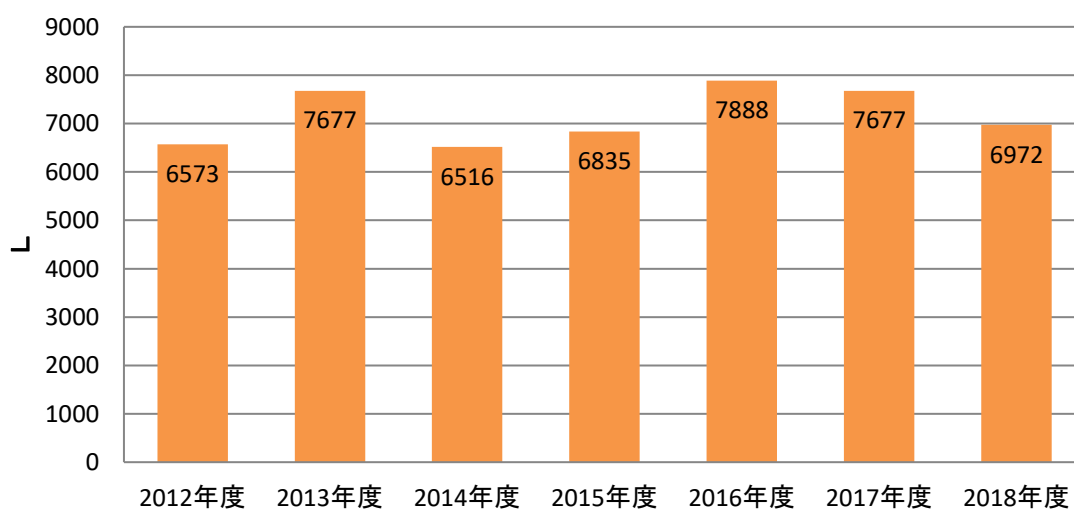
売上高(百万円)



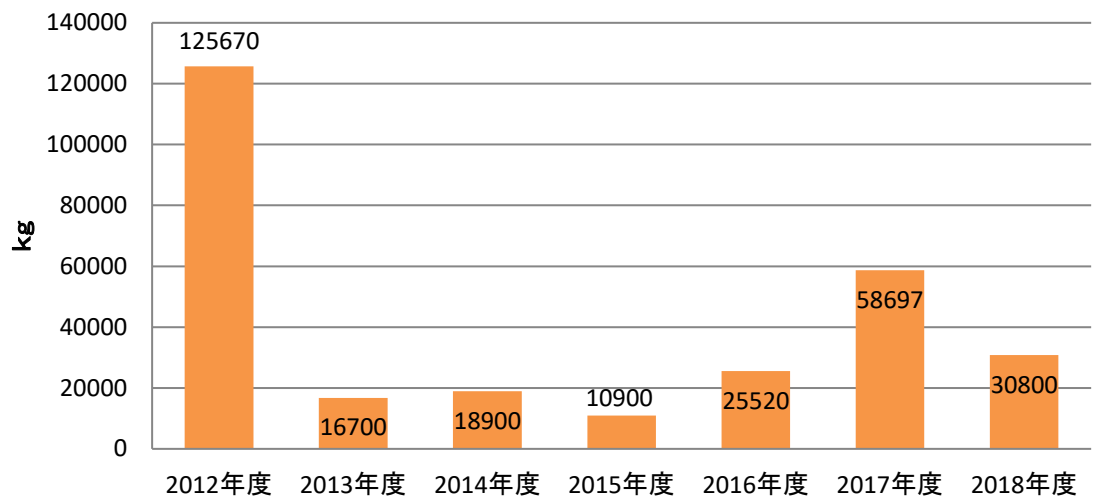
電気使用量(kWh)



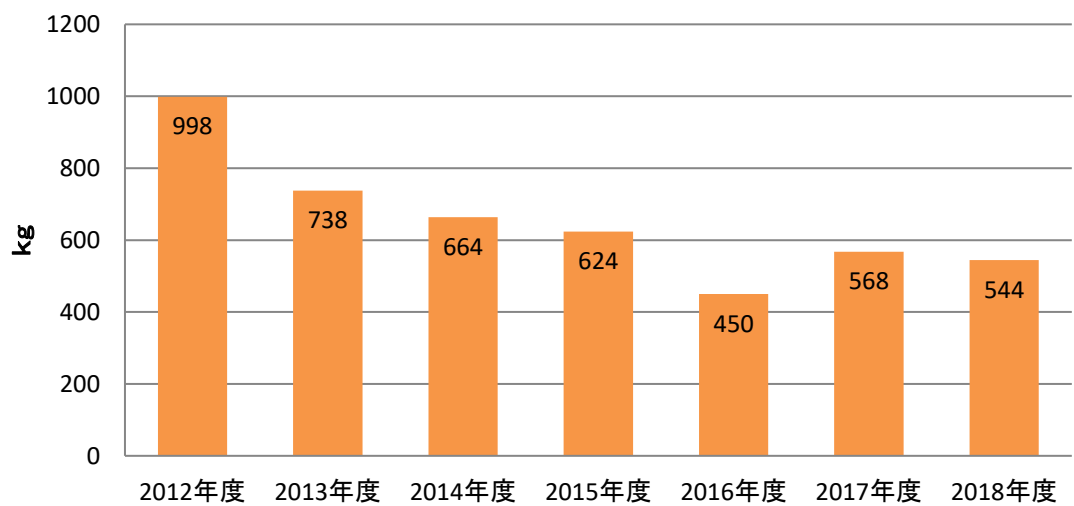
ガソリン使用量(L)



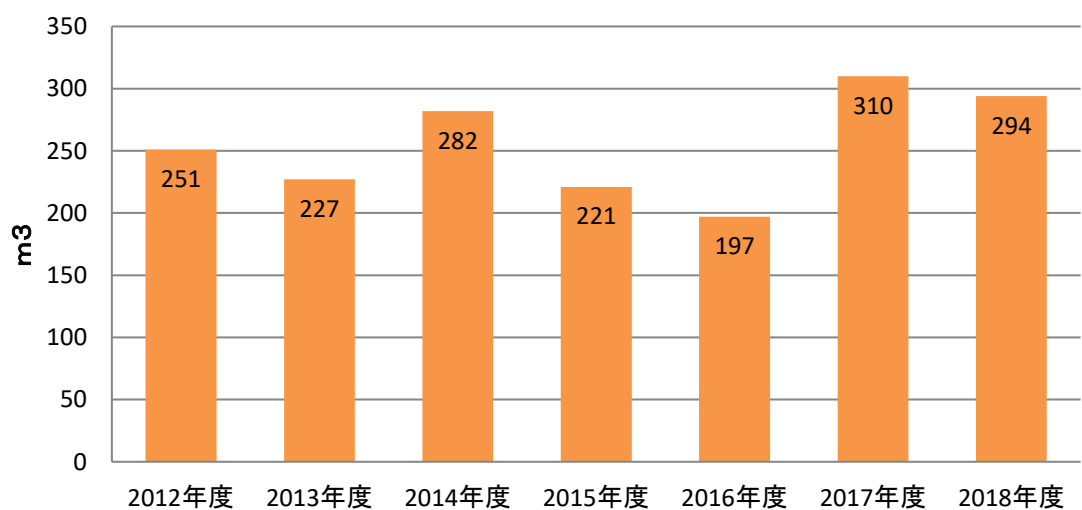
産業廃棄物排出量(kg)



一般廃棄物排出量(kg)



水使用量(m3)



8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

取組期間:2018年7月1日～2019年6月30日

目的			実施 責任 者	評価				
				2018		2019		総合
				7～9	10～12	1～3	4～6	
二 酸 化 炭 素	電力 使用量 の削減	①不要な照明の消灯	長尾真	○	○	○	○	○
		②エアコンの使用期限を設定 (冷房:6～9月・暖房:12月～2月)		○	○	○	○	○
		③ノー残業デーの推進		△	△	△	△	△
	ガソリン 使用量 の削減	①運転経路の確認・検討を行う	久保	○	○	○	○	○
		②エコ運転の実施		○	○	○	○	○
		③車輛の燃費確認		○	○	○	○	○
廃 棄 物	産業 廃棄物 の削減	①建設資材発注時に使用数量を再チェックし、 残余資材の廃棄を抑制	久保	○	○	○	○	○
		②ゴミの分別の徹底		○	○	○	○	○
		③段ボールは古紙回収業者へ		○	○	○	○	○
	一般 廃棄物 の削減	①裏紙使用の推進	長尾真	○	○	○	○	○
		②ゴミの分別の徹底		○	○	○	○	○
		③プリント時の印刷設定の確認		○	○	○	○	○
水 使 用 量	節水	①日常的な節水の励行	長尾真	○	○	○	○	○
		②節水ポスターの掲示と呼び掛け		○	○	○	○	○
		③蛇口をこまめに閉める		○	○	○	○	○
組 織 本 来 の 取 組	事業活動 における 環境配慮	①環境負荷の少ない環境配慮工法の提案をする	近藤	○	—	○	—	○
		②作業所において、騒音・振動を低減させる		○	○	○	○	○
地 域 貢 献 活 動	地域で環 境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	長尾真	○	○	○	○	○
		②清掃ボランティアへの参加(年1回)		—	—	—	○	○

○:計画通り実施

△:一部できていない

×:できていない

8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

目的		具体的実施項目	評価コメント
二酸化炭素	電力使用量の削減	①不要な照明の消灯 ②エアコンの使用期限を設定 （冷房:6～9月・暖房:12月～2月） ③ノー残業デーの推進	・人がいない所の照明と休憩時間は、消灯した。 ・使用期限を守るよう努めた。 ・退社時刻を守れない者がいた。
	ガソリン使用量の削減	①運転経路の確認・検討を行う ②エコ運転の実施 ③車両の燃費確認	・出発前に社内で話し合い、確認・検討をしている。 ・環境省の「エコドライブ10のすすめ」を配布し、エコ運転に努めている。 ・燃費確認用紙を配布し、各自で燃費確認を行った。
廃棄物	産業廃棄物の削減	①建設資材発注時に使用数量を再チェックし、 残余資材の廃棄を抑制 ②ゴミの分別の徹底 ③段ボールは古紙回収業者へ	・再チェックし、廃棄を抑制している。 ・分別の方法を会議で周知し、再確認している。 ・業者に回収してもらっている。
	一般廃棄物の削減	①裏紙使用の推進 ②ゴミの分別の徹底 ③プリント時の印刷設定の確認	・社外に出ない書類は、裏紙を使用している。 ・分別の方法を会議で周知し、再確認している。 ・プリント時に、印刷設定を確認するよう周知している。
水使用量	節水	①日常的な節水の励行 ②節水ポスターの掲示と呼び掛け ③蛇口をこまめに閉める	・節水ポスターの掲示と節水を呼び掛けている。
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	①環境負荷の少ない環境配慮工法の提案をする ②作業所において、騒音・振動を低減させる	・新築住宅設計の際、太陽光発電システムの提案を1件行った。 ・住宅改修の際、エコキュートシステムの提案を1件行った。 ・全作業所において、騒音・振動の低減に努めた。
地域貢献活動	地域での環境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	・毎月朝礼後に、会社周辺道路の清掃活動を行っている。 ・建築団体の清掃活動に1回参加した。

9. 次年度環境経営目標

取組期間:2019年7月1日～2020年6月30日

目 的		単位	基準値	2019年度 目標(－2%)
二酸化炭素総排出量の削減		kg－CO2	22,043	21,602
1	1－1 電力使用量の削減	kWh	10,525	10,314
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	7,460	7,310
2	産業廃棄物の削減	kg	31,705	31,070
3	一般廃棄物量の削減	kg	547	536
4	水使用量の削減	m3	294	288
5	環境負荷の少ない環境配慮 工法の提案をする	件	2	3
6	作業所において、騒音・振動を 低減させる	実施率 100%	100%	100%
7	会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	回	12	12
8	清掃ボランティアへの参加(年1 回)	回	1	1

* 基準値は、2015年度～2017年度の3年間平均とした。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO2(2017年度)とした。

* 2018年6月本社移転の為「電力使用量の削減」「水使用量の削減」について、
2019年度・2020年度は2018年度を基準値とする。

10. 次年度環境経営計画

取組期間:2019年7月1日～2020年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比 2%削減	①不要な照明の消灯 ②エアコンの適正温度の徹底 (冷房:室温26度・暖房:室温20度) ③クールビズ・ウォームビズの推進	長尾真由美
	ガソリン使用量の削減	基準値比 2%削減	①車両点検の実施(月1回) ②エコ運転の実施 ③車両の燃費確認	久保一樹
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比 2%削減	①発生現場もしくは他の現場で、 再利用できる物は再利用する ②ゴミの分別の徹底 ③段ボールは古紙回収業者へ	久保一樹
	一般廃棄物の削減	基準値比 2%削減	①コピー用紙の毎月の使用量と料金を前年の データと併せてグラフ化し、使用場所に掲示する。 ②両面・集約プリントの推進 ③文書の電子化に取り組む	長尾真由美
水使用量	節水	基準値比 2%削減	①毎月の使用量と料金を前年のデータと 併せてグラフ化し、使用場所に掲示する。 ②節水ポスターの掲示と呼び掛け ③トイレの大・小レバー使い分けの推進	長尾真由美
組織本来 の取組	事業活動における 環境配慮	実施率 100%	①着工前の事前会議の充実 ②工程会議実施の徹底 ③コミュニケーションの強化	近藤雅之
地域貢献 活動	地域での貢献活動	実施率 100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②清掃ボランティアへの参加(年1回)	長尾真由美

11. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境法規制等の遵守をチェックした結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

今後も定期的に遵守確認を行い、法規制から逸脱することのないように致します。

法 規 制	遵守確認
廃棄物処理法	遵守
建設リサイクル法	遵守
容器包装リサイクル法	遵守
オフロード法	遵守
建築基準法	遵守
香川県環境基本条例	遵守
高松市環境基本条例	遵守
作業所で同意するその他の要求事項	遵守

※ 環境法規制等順守チェックリストより抜粋

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ☒ 定期見直し（事業年度終了後）
☐ 臨時見直し

評価期間		2018年7月～2019年6月
評価実施日		2019年8月1日
見直しに必要な情報	環境管理責任者の報告及び改善への提案	
	取組状況の評価結果	①環境関連法規等の遵守状況 違反・訴訟はありませんでした。
		②問題点の是正及び予防措置の状況 「一般廃棄物量の削減」と「水使用量の削減」の項目が、目標未達でした。コピー用紙の使用については、コピー・プリント時の再確認の周知、徹底を行います。水使用量についても、節水のさらなる周知、徹底を行います。
	環境経営目標・環境経営計画の達成状況	環境経営目標は、「一般廃棄物量の削減」と「水使用量の削減」の項目が、目標未達でした。 環境経営計画は、「ノー残業デーの推進」の項目のみが、できていません。
	周囲の変化の状況	①環境コミュニケーション(内部・外部) 外部については、1件苦情があり、再発防止策を検討しました。 内部については、改善会議で、3S活動について話し合うなど、意見・情報の交換ができています。
		②環境関連法規等の動向他 特にありません。
環境管理責任者から改善への提案、コメント	電気・ガソリン・産廃・コピー用紙の使用量について、前年度と今年度の数値とを並べたグラフを作成し、皆に周知し、特に「水の使用量」については原因を考え、節水に努めることを協議しました。 来期の取組計画を徹底し、目標達成に努めます。	
代表者による見直し	変更の必要性の有無・指示事項など	
	環境方針	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 同方針にて取り組む。
	環境経営目標・環境経営計画	変更の必要性 ☒ 有 ☐ 無 環境経営目標については、昨年度設定した数値で実行するが、次年度の結果を踏まえて、「二酸化炭素の排出量削減」の基準値の見直しを考える。環境経営計画は、目標達成できていない項目については、計画を見直しして、次期の取組の徹底をはかっていく。
	その他	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 なし
	総括	できる計画ではなく、できなくても、当社がやっていくべき計画について見直し・検討する。